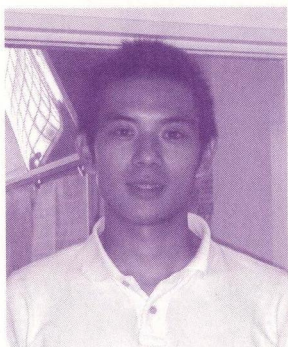


五感で学ぶ食育 & 食農活動

～埼玉県飯能市・さゆり幼稚園の実践より～



さゆり幼稚園 食育担当
西村 純 先生

《食育》への関心の高まりにと
もない、幼稚園や保育園では、
栄養バランスに配慮した給食
の運用や食に関する体験活動
など、さまざまな取り組みが
行われています。しかしその
反面、家庭での生活習慣の乱
れや食の偏りなど、園だけで
は対応しきれない課題がある
のも事実。そこで今回は、家
庭や地域と連携しながら長期
的な学びとしての食育のあり
方を模索している、埼玉県飯
能市・さゆり幼稚園の実践を
紹介します。

園舎の向かいに広がる畑で、

3つの活動と事前学習で
体験を心に刻む



約1200㎡の畑ではト
マトをはじめ、年間40
～50種類の野菜や穀物
が作られており、毎月、
園児たちが収穫を行っ
ています。



先生に教えられながら野菜の
世話や収穫をする園児たち。
そんな姿が日常的に見られる
のが、埼玉県飯能市にあるさ
ゆり幼稚園です。

を使って調理する「つくる」
活動、そして、近隣の養鶏場
に見学に行ったり、牧場から
園に牛を連れてきてもらい、
乳搾りなどを体験する「ふれ
る」活動。この「ふれる」活
動を加えたのは、《食》と《農》
だけでなく、畑ではできない
こともあることを知ってほし
いからだと話すのは、さゆり

幼稚園で食育指導を専任している西村純先生。

「野菜を育てたり、食べたりする活動は多くの園で行われていると思います。でも、私たちが普段食べているものは畑でできたものだけではありません。そのことを体験を通じて知ってほしい、ひいては、物事をいろんな方向から見たり感じたりできるようになってほしいと考えました。大人が知識として伝えることと、子どもたちが体験して感じることは大きな違いがあると思いますから」

その一方で、3つの体験的な活動とともに「事前学習」にも力を注いでいます。

「教育という視点から考えれば、やはりその場だけの楽しみだけでなく、『学び』も大切にしたい。それぞれの野菜がどんな種類のもので、どう育っていくかを予測させるなど、事前学習と振り返り学習を行いながら、体験がより深

く子どもたちの心に残るよう心がけています」

豊かな心を育てたい！
本格的な食育指導導入へ



さゆり幼稚園が本格的な食育指導を始めたのは今から3年前。東京農業大学で国際

さゆり幼稚園の食育指導の流れ

事前学習

3つの体験的活動

ふれる活動

つくる活動

そだてる活動

食への理解をさらに深める

“あおぞら教室”&“おひさまクラブ”

さゆり幼稚園では、現在、通常カリキュラムの食育指導のほかに、課外授業の“あおぞら教室”と、保護者を対象とした食育クラブ“おひさまクラブ”を開催しています。本来、農作とは種をまいて収穫するだけでなく、肥料づくりから種まき、収穫、そして、残った野菜を畑に返して次の土壌にするまでの一連の流れのくり返して行われるもの。園児クラスと小学生クラスからなる“あおぞら教室”では、畑を耕すことから収穫・調理までの流れを体験することで、園での食育指導をより深める内容となっています。

また、子どもの食環境を担う保護者を対象とした“おひさまクラブ”では、給食センター見学や講習会など、さまざまな活動が企画されています。



自分たちで作った小麦を脱穀・精製し、うどんを作る子どもたち。こうして“農”から“食”への流れを体験していきます。

農業開発について学んだ西村先生が、園に食育指導の導入を呼びかけたことがきっかけだったといいます。
「大学時代にアフリカのマダガスカル共和国を訪問する機会があったのですが、マダガスカルでは農業が盛んに行わ

れており、農作業の手伝いなどを通じて、子どもたちの心がとても豊かに育っていました。それを見て、日本の子どもたちにも、土に触れたり、匂いのかいだりといった《五感》を使った農業体験をさせてあげたいと考えるよう



食農・食育指導のポイント！

～西村先生からのアドバイス～

畑を作るスペースがなくても、野菜を作ろうと思えば、プランターでもできるし、ペットボトルでお米を育てることも可能です。そして何よりも大切なのは、保育者自身がそれを体験し、その楽しさや大変さを感じることに。そうすれば、子どもたちと同じ目線で、農業の楽しさや食のありがたみを感じられるのではないのでしょうか。現在、農家だけでなく、全国の市区町村で農業体験や漁業体験が実施されていますので、先生方もぜひ体験してみてください。

西村先生はこう話します。

「保育者と保護者、地域のそれぞれが食育に関心をもち、お互いに理解を深めていければと考えています」

現在、さゆり幼稚園で食育を担当しているのは西村先生のみ。ほかの先生にも少しずつ食育指導のノウハウを伝えていくそうです。また、

保護者や地域の人々は、食育の取り組みに対して理解は示すものの、その重要性を実感している人はまだ少数派。これから保護者や地域の理解を深めていくためにはどうしたらいいのか、その方法を思案していると西村先生は語りま

す。「自分自身の知識やノウハウをさらに磨いていくのと同時に、それをほかの職員にも広

げ、園全体で食育を行えるようになればと考えています。そして、保護者や地域からの

理解を深め、連携を図ることで、さらに充実した指導を行っていきたくですね」

学校法人 さゆり学園 さゆり幼稚園

- 園長名：西村恵子
- 住所：〒357-0024 埼玉県飯能市緑町 2-5
- 園児数：229名
- 職員数：24名
- URL <http://www.hannousayuri.com/>



さゆり幼稚園は、キリスト教の牧師をしていた現園長の祖父により、1958（昭和33）年に設立。今年で創立50周年を迎え、これまで5,259名の卒園者を送り出してきました。自分で考えて体験することで、知識だけでは得られない本物の喜びを感じることでできる手作り保育を実践。キリスト教の教えのもと、食育をはじめとした専門講師による質の高い教育、家庭との密接したきめ細かい保育、屋上プレイランドなど、充実した環境と施設設備で、子どもの育ちをサポートしています。



さゆり幼稚園
西村 恵子 園長